

新型コロナウイルス対策
ガイドライン
《旅行会社・教育関係機関様向け》
令和2年11月01日

日の丸タクシー(株)

《ガイドライン指針》

本ガイドラインは、新型コロナウイルスの対策について定めたものであり、お客様へ輸送サービスを提供する上で、感染リスクを最小限に抑え安心してご乗車いただくために社全体として遵守するも

乗 務 員 対 策

- (1) 全乗務員のマスク着用の上、乗務を実施。
- (2) こまめな手洗い、うがい消毒の実施。
- (3) 点呼時の検温、平熱より大幅に上昇している場合は、出庫を中止、代替乗務員による運行を実施する。
- (4) 手袋を着用し荷物には直接触らない。
- (5) 運転席から(お客様へ顔を向けない)ご挨拶をする。



車内対策

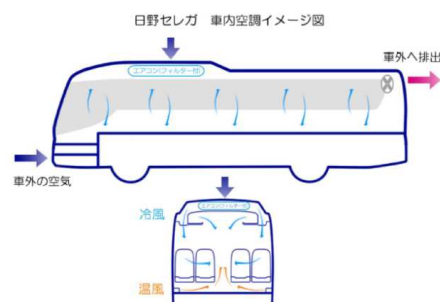
- (1) 車内全域を除菌・消毒の実施。
- (2) 車内にお客様用の手指アルコール消毒機(自動)を設置。
- (3) 運転席と客席との間にアクリル仕切り板を設置。
- (4) 座席設置用の飛沫防止シールドを用意。

※ 厚紙のシールドをヘッドレストに差し込むことで、飛沫の拡散を防止、中央部分は透明シートを使用していますので、お客様の視界を妨げることなくご乗車いただけます。



(5) 車内の空気を常時換気するために、
「外気導入運転」を固定でセットする。

※「外気導入モード」時では車両の前方と、屋根上のエアコンから新鮮な空気をとり入れることにより、おおむね5分で、車内の空気を入れ替えることができます。」
参考:日野自動車株式会社 大型観光バス「日野セレガ」車内空調について
<https://www.hino.co.jp/corp/news/2020/20200702-002655.html>



(6) お客様がバスから長時間離れているときは、できる限り
窓を開けて換気を実施。

(7) お客様の乗車後、当社感染防止対策車内案内DVDを再生。
(出発時/帰着時再生)

運行終了後の消毒

(1) 除菌後は「清掃チェック表」を各車両に設置し、消毒が完了
したことをお知らせする。

奈良県立医科大学の実験で、密閉された容器の中で新型コロナウイルスに既定の濃度のオゾンガスを約1時間噴霧した結果、感染力をもったウイルスが最大で1万分の1にまで減少することが確認されました。
<http://www.naramed-u.ac.jp/university/kenkyu-sangakukan/oshirase/r2nendo/ozon.html>

当社はオゾン発生量5000mg/hの装置を使用し、運行終了後に20分間噴霧します。
オゾン濃度(38.9ppm)＝オゾン発生量(5000mg/h)÷空間容積(大型バス60m³)÷2.14
オゾン効果CT値(778)＝オゾン濃度(38.9ppm)×運転時間(20min)
新型コロナウイルスはCT値＝330で不活性化しますが理論値のため2倍以上で設定。

(2) 運行終了後はオゾン発生装置にて
除菌・消臭。



お客様へのお願い

- (1) 乗車する際にアルコール消毒液を一人1回、手指へ噴霧してください。
- (2) 乗車時の検温を適宜行います。
- (3) ご乗車にあたってはマスクの着用をお願いします。着用していない場合はお声掛けすることがあります。
- (4) 運行中に体調不良を感じた場合は直ぐに乗務員へお知らせください。
- (5) 大声での会話はお控えください。

